

中間検査チェックシート

交付番号

建築主名

監理者名

印

意匠

1 敷地

面積 変更があった 確認申請と同じ ※○に✓でチェック
形状 変更があった 確認申請と同じ
平均地盤面 変更があった 確認申請と同じ

2 配置

壁面から敷地境界線までの距離（東 m、南 m、西 m、北 m）

3 高さ

平均地盤面からの建築物の高さ（最高の高さ m、軒の高さ m）

4 建築物の形態

立面 変更があった 確認申請と同じ
断面 変更があった 確認申請と同じ

設備

避雷設備の接地極の位置、材料、抵抗値 確認していない 確認した
排水管が公共下水道等に適正に連結されているか 確認していない 確認した
浄化槽の位置、機種 確認していない 確認した

変更届・計画変更確認申請 申請していない 申請した

変更の内容

監理者が検査をして、不合格にしたこと。そして、どのように訂正させたのか

中間検査チェックシート（木造・枠組壁工法）

※:印のある欄は記入しないでください。
 検査機関用 A:目視検査
 (検査方法) B:計測検査
 C:監理者報告

検査項目	検査内容	検査日付		※ 検査機関用				
		施工者	監理者	※ 検査方法	※ 結果		修正 月日	
					1次 良否	2次 良否		
土工事								
根切り	根切り深さの確認			C				
	支持地盤の確認			C				
盛土	締固めの確認			C				
地業工事								
割り石 砂利	厚さの確認			C				
	締め固め状況の確認			C				
捨コンクリート	厚さの確認			C				
くい	材料	均し状況の確認 径・ 形状・ 長さ・の確認			C			
		施工	杭工法の確認			C		
	掘削深さの確認			C				
	支持層の確認			C				
	杭長の確認			C				
	位置・配置の確認			C				
	数の確認			C				
	形状の確認			C				
	※杭の芯ずれ状況（補強）の確認			C				
その他	地盤改良工法の確認			C				
	地盤置換工法の確認			C				
基礎工事								
基礎	材料	《コンクリート》						
		配合報告書・圧縮強度試験成績書 《鉄筋》 種類・ 径・ 規格・の確認			C			
	施工	基礎（布基礎・ベタ基礎）の種類の確認			C			
		配置・位置の確認			C			

検査項目		検査内容	検査日付		※ 検査機関用			
			施工者	監理者	※ 検査方法	※ 結果		修正 月日
						1次 良否	2次 良否	
基礎	施工	形状・寸法の確認 (フーチング 巾 45 cm 以上 厚 15 cm 以上) (キソ 巾 15 cm 以上)			C			
		地盤から基礎上端までの高さの確認 (30 cm 以上)			C			
		配筋の確認			C			
		埋戻し前の打設コンクリート状態の確認 (欠陥部及び補修の状況・躯体寸法)			C			
アンカー ボルト	材料	寸法・(長さ 35 cm 以上) 種類・ 径・(12 mm 以上)の確認			A : C			
		接合金物 (釘を含む) 材質・種類・の確認 (腐食のおそれ・常時湿潤の状態のおそれがある部分 に使用する金物の錆止めの措置)			A : C			
	施工	接合金物 (釘を含む)・アンカーボルトの種類・緊結状況確認			A : C			
		基礎と土台の接合状況の確認			A : C			
		アンカーボルト位置の確認 間隔2m以内及び 1階の床に達する開口部の両端のたて枠から15cm以内・ かつ、隅角部・土台の継ぎ手の部分の確認			A:B:C			
		1階部分の両面開口部・床枠組・隅柱と土台の接合状況の確認 (帯金物・ホールダウン金物等使用)			A : C			
換気口		床下換気口の確認 (5m以下ごと 面積300cm ²)			A:B:C			
		換気口に替わるものの確認			A:B:C			
木工事								
土台	材料	製材規格に規定する寸法型式の確認 (204 206 208 404 406 408)			A:B:C			
		材質・材種の確認			A : C			
	施工	隅角部・仕口・継ぎ手位置の接合方法・状況の確認			A:B:C			
		基礎と接する面の防水紙・防水紙に類するものの確認			A : C			
		防腐・防蟻措置の確認 (防腐処理を施した旨の表示404・406・408の防腐処理)			A : C			
耐力壁	材料	下枠・たて枠・上枠・頭つなぎ・(まぐさ)						
		製材規格に規定する寸法型式の確認 (204 206 208 404 406 408)			A:B:C			
		材質・材種の確認			A : C			
		接合金物 (釘を含む) 材質・種類・の確認 (腐食のおそれ・常時湿潤の状態のおそれがある部分 に使用する金物の錆止めの措置)			A : C			

検査項目	検査内容	検査日付		※ 検査機関用			
		施工者	監理者	※ 検査方法	※ 結果		修正 月日
					1次 良否	2次 良否	
施工	外壁の耐力壁線相互の交さ部の耐力壁の確認 (L90cm以上)			A:B:C			
	耐力壁のたて枠相互の間隔の確認 (206 406 50cm以下3Fの3Fについては65cm以下・ 208 408 65cm以下)			A:B:C			
	屋外に面する部分で、かつ、隅角部・開口部両端の部分にある たて枠と直下の床枠組の接合状況の確認			A : C			
	開口部(幅90cm以上)の上部の まぐさの有無の確認(たて枠と同寸法以上)			A : C			
	たて枠の欠込み・穴あけの大きさ・位置の確認			A : C			
	2階・3階の耐力壁直下に耐力壁を設けない場合 耐力壁直下の床根太補強の確認			A : C			
	筋かいに欠込みがないことの確認			A : C			
	壁の各部材相互及び壁と床、頭つなぎ・まぐさ受け の接合状況・緊結方法の確認			A : C			
	1階両面開口・2階両面開口を設置しその直下の床に達する 開口部の接合状況の確認(帯金物・ホールダウン金物等使用)			A : C			
	壁枠組と壁材との緊結状況の確認			A : C			
	防腐・防蟻措置の確認 (地面から1m以内)			A : C			
床	材料	床根太 端根太 側根太					
		製材規格の寸法型式の確認 (206 208 210 212)			A:B:C		
		床材の確認 構造用合板(厚 \geq 15mm) パーティクルボード(厚 \geq 18mm) 構造用パネル1級			A:B:C		
		接合金物(釘を含む)材質・種類・の確認 (腐食のおそれ・常時湿潤の状態のおそれがある部分 に使用する金物の錆止めの措置)			A : C		
	施工	床根太の支点間距離による製材規格の寸法型式の確認 8m以下とする 寸法型式212を用いる場合3m以下ごとところび止め (2以上緊結の場合4. 5m未満とする)			A:B:C		
		床根太間隔の確認 (65cm以下)			A:B:C		
		床に設ける開口部の補強(床根太と同寸)の確認			A : C		
		床材の確認 (床根太間隔 65・50・31cm)			A:B:C		
		床の各部材相互及び床の枠組と土台又は頭つなぎの緊結の確認			A : C		
		防腐・防蟻措置の確認(床根太・床材を除く)			A : C		

検査項目	検査内容	検査日付		※ 検査機関用			
		施工者	監理者	※ 検査方法	※ 結果		修正 月日
					1次 良否	2次 良否	
小屋	材料	たる木・天井根太					
		製材規格の寸法型式の確認 (204 206 208 210 212)			A:B:C		
		材質・材種の確認			A : C		
	施工	接合金物（釘を含む）材質・種類・の確認			A : C		
		たる木相互の間隔65cm以下の確認			A:B:C		
		たる木又はトラスは、頭つなぎ及び上枠に金物で緊結の確認			A : C		
		小屋組の振れ止めの確認			A : C		
		屋根下地材の確認 構造用合板（厚 ≥ 12 mm） パーティクルボード・構造用パネル1・2級（厚 ≥ 15 mm） たる木間隔 50cm 以下・31cmを越えるの場合の確認			A:B:C		
小屋組の各部材相互及び小屋組部材と 頭つなぎ・屋根下地材の緊結方法・状況の確認			A : C				

※ 不具合の処理 及び検査結果 工事全般の考察	
-------------------------------	--

※ 受 理 日 年 月 日

※ 中間検査日 年 月 日

※ 検査員氏名 _____

※ 印のある欄は記入しないでください。